

分野	62	都市経営
施策	622	財産の適正管理
5年後の目標		市有財産が適切に管理され、市民が最大の効用を得られるよう適正に運用されている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	市有財産管理台帳の整備		会計	款	項	目	1,208,520	公共施設再編推進室
			一般	2	1	5		
事業の概要								
市有財産管理台帳の整備を促進します。								

平成29年度の取組							
D (取組)	指標	国の統一的な基準による固定資産台帳の整備				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	公有資産台帳の整備(平成26年度)	目標	固定資産台帳の整備完了	財務諸表への反映	—	—	—
		実績	固定資産台帳の整備完了	財務諸表への反映			
<ul style="list-style-type: none"> ・財産の登録や抹消漏れのないよう、財産の異動があった部署との連携を確実に行いました。 ・平成28年度の市有財産(土地、建物、設備、備品、道路、橋りょう、防火水槽、公園・公園遊具など)の取得・除却等の異動や、施設の大規模な補修・改修について、固定資産台帳に登録しました。 							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市有財産を一括管理し、財務4表へ反映できる状態となりました。 ・平成29年度に公開した平成28年度分の財務4表は、総務省の「統一的な基準による地方公会計マニュアル」により作成しました。 	—
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附・交換等といった金銭の入出が伴わない財産の取得・除却については、反映漏れしやすいことが分かりましたので、これらも正確に把握し適切に管理していきます。 			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	<ul style="list-style-type: none"> 【平成29年度をもって実施計画事業完了】 ・当該計画の目標であった、固定資産台帳の整備、及び財務4表への反映が、平成29年度で完了したため、実施計画事業を廃止します。

分野	62	都市経営
施策	622	財産の適正管理
5年後の目標		市有財産が適切に管理され、市民が最大の効用を得られるよう適正に運用されている。

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課
	公会計制度の整備		会計	款	項	—	財政課
			—	—	—		
事業の概要							
財政の透明性を高め、市民等への説明責任をより適切に果たすため、従来からの現金主義・単式簿記による会計制度に加えて、発生主義・複式簿記など企業会計的手法を活用した公会計制度の整備を図ります。							

平成29年度の取組																																																																																										
D (取組)	指標	国の統一的な基準による公会計財務書類の作成及び公表				単位	—																																																																																			
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32																																																																																			
	平成28年度 新規事業	目標	地方公会計システムの整備	財務書類の作成及び公表	—	—	—																																																																																			
		実績	地方公会計システムの整備	財務書類の作成及び公表																																																																																						
<p>・総務省により、固定資産台帳の整備と複式簿記の導入を前提とした財務書類の作成に関する「統一的な基準」が示され、各地方公共団体はこれに則った財務書類を平成28年度決算分から作成することとされています。</p> <p>・平成28年度に導入した「地方公会計標準ソフトウェア」を活用し、平成29年度は「統一的な基準」による最初の財務書類として、平成28年度決算分を作成し、市ホームページで公表しました。</p>						<p>貸借対照表 (平成29年3月31日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>金額</th> <th>科目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【資産の部】</td> <td></td> <td>【負債の部】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>固定資産</td> <td>115,744</td> <td>固定負債</td> <td>30,865</td> </tr> <tr> <td>流動資産</td> <td>111,805</td> <td>地方債</td> <td>28,655</td> </tr> <tr> <td>繰上資産</td> <td>87,295</td> <td>長期未払金</td> <td>498</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>72,524</td> <td>繰上引当金</td> <td>3,803</td> </tr> <tr> <td>立木竹</td> <td>0</td> <td>繰上引当金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>47,810</td> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>建物減価償却累計額</td> <td>▲ 33,958</td> <td>流動負債</td> <td>2,984</td> </tr> <tr> <td>工作物</td> <td>1,202</td> <td>1年内償還予定地方債</td> <td>2,028</td> </tr> <tr> <td>工作物減価償却累計額</td> <td>▲ 587</td> <td>未払金</td> <td>236</td> </tr> <tr> <td>船舶</td> <td>0</td> <td>未払費用</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>船舶減価償却累計額</td> <td>0</td> <td>貸付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>浮揚等</td> <td>0</td> <td>貯蓄資産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>浮揚等減価償却累計額</td> <td>0</td> <td>貯蓄収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>航空機</td> <td>0</td> <td>繰上引当金</td> <td>322</td> </tr> <tr> <td>航空機減価償却累計額</td> <td>0</td> <td>繰上金</td> <td>380</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他減価償却累計額</td> <td>0</td> <td>負債合計</td> <td>33,933</td> </tr> <tr> <td>繰上資産</td> <td>1,617</td> <td>純資産の部</td> <td>118,671</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>繰上資産</td> <td>118,671</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成28年度財務書類の一部</p>	科目	金額	科目	金額	【資産の部】		【負債の部】		固定資産	115,744	固定負債	30,865	流動資産	111,805	地方債	28,655	繰上資産	87,295	長期未払金	498	土地	72,524	繰上引当金	3,803	立木竹	0	繰上引当金	0	建物	47,810	その他	0	建物減価償却累計額	▲ 33,958	流動負債	2,984	工作物	1,202	1年内償還予定地方債	2,028	工作物減価償却累計額	▲ 587	未払金	236	船舶	0	未払費用	0	船舶減価償却累計額	0	貸付金	0	浮揚等	0	貯蓄資産	0	浮揚等減価償却累計額	0	貯蓄収益	0	航空機	0	繰上引当金	322	航空機減価償却累計額	0	繰上金	380	その他	0	その他	0	その他減価償却累計額	0	負債合計	33,933	繰上資産	1,617	純資産の部	118,671			繰上資産	118,671
科目	金額	科目	金額																																																																																							
【資産の部】		【負債の部】																																																																																								
固定資産	115,744	固定負債	30,865																																																																																							
流動資産	111,805	地方債	28,655																																																																																							
繰上資産	87,295	長期未払金	498																																																																																							
土地	72,524	繰上引当金	3,803																																																																																							
立木竹	0	繰上引当金	0																																																																																							
建物	47,810	その他	0																																																																																							
建物減価償却累計額	▲ 33,958	流動負債	2,984																																																																																							
工作物	1,202	1年内償還予定地方債	2,028																																																																																							
工作物減価償却累計額	▲ 587	未払金	236																																																																																							
船舶	0	未払費用	0																																																																																							
船舶減価償却累計額	0	貸付金	0																																																																																							
浮揚等	0	貯蓄資産	0																																																																																							
浮揚等減価償却累計額	0	貯蓄収益	0																																																																																							
航空機	0	繰上引当金	322																																																																																							
航空機減価償却累計額	0	繰上金	380																																																																																							
その他	0	その他	0																																																																																							
その他減価償却累計額	0	負債合計	33,933																																																																																							
繰上資産	1,617	純資産の部	118,671																																																																																							
		繰上資産	118,671																																																																																							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・「統一的な基準」による最初の財務書類を作成し、市ホームページで公表しました。	—
	課題等	・平成28年度決算分が初めての作業であったため、作業手順を模索しながら作成しましたが、さらに効率的な作業となるよう、整理していくことが必要です。			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当
	・課内検討により作業手順を整理・効率化したうえで、今後も「統一的な基準」による財務書類を作成し、公表します。